

LR独立保証証明書

J.フロントリテイリング株式会社の統合報告書 2019 に記載された 2017 年度及び 2018 年度環境データに関する保証

この保証証明書は、契約に基づいて J.フロントリテイリング株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件

ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド（以下、LR という）は、J.フロントリテイリング株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、統合報告書 2019 に記載された 2017 年度（2017 年 3 月 1 日～2018 年 2 月 28 日）及び 2018 年度（2018 年 3 月 1 日～2019 年 2 月 28 日）の会社の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE3000 および、温室効果ガス排出量については ISO14064-3 を検証基準として用いて独立保証業務を実施した。

我々の保証業務は、会社とその国内外連結会社における運営及び活動、以下の要求事項を対象とする。

- 報告書が会社の定める報告手順に従っていることの検証
- 以下の選択された環境データの正確性及び信頼性の評価^{1 2}
 - エネルギー使用量（原油換算値および MWh）
 - スコープ 1 GHG 排出量（トン CO₂e）³
 - スコープ 2 GHG 排出量（トン CO₂e）

保証業務の範囲は、会社のサプライヤー及び業務委託先、その他報告書で言及される第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LR は会社以外へのいかなる義務または責任も放棄する。会社は、報告書内のすべてのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

検証意見

LR の保証手続きにおいて、会社が

- 上述の要求事項を満たしていない
- 正確で信用できる環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断による重要性に基づいて形成された。

注:限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

保証手続

LR の保証業務は、ISAE3000 および、温室効果ガス排出量については ISO14064-3 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が行われた。

¹ 統合報告書 2019 の財務・非財務ハイライトに掲載された 2017 年度、2018 年度の温室効果ガス排出量、エネルギー使用量について限定的保証業務を行った。

² GHG 排出量の算定は固有の不確かさを持つ。

³ HFC 漏出量の集計期間は、2017 年度分は 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日に、2018 年度分は 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日とする。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LR は、内部検証を含め、データの取り扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2017 年度、2018 年度の環境データの検証を実施した。
- データの収集及び記録管理の実施状況を確認するため、J.フロントリテイリング株式会社（本社）、株式会社大丸松坂屋百貨店（本社）、株式会社大丸松坂屋百貨店（東京店）、株式会社パルコ（本社）、株式会社パルコ（池袋店）を視察した。

観察事項

会社は、今後のGHGデータの報告において、完全性、正確性、信頼性を更に向上することが期待される。特に、本社並びに子会社の各々において、確実に内部のデータを管理するシステムを確立することが望まれる。

基準、適格性及び独立性

LRはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO17021-1 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部 要求事項の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

署名

2019 年 7 月 29 日



木下 徳彦

LR 主任検証人

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR reference: YKA4005469

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2019. A member of the Lloyd's Register Group.